## がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	SPIRITS
診療科名	腫瘍内科
診療科責任者名	大山 優
適応がん種	胃がん
保険適応外の使用	□有 ■無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	Ga-25
登録日•更新日	2011年1月19日
削除日	
出典	Lancet Oncology 2008;9:215
入力者	安室 修

## 投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名	規格	投与量算出式	ルート		投与時間	施行日
No.1	TS-1	20mg,25mg	80mg/m^2	□IV □DIV □IVHポート □側管 ■その他( po	)		Day1-21
INO. I			(40mg/m <sup>2</sup> *2回/Day)				
No.2	シスプラチン	10mg,50mg	60mg/m^2	□IV ■DIV □IVHポート □側管 □その他(	)	2時間	Day8
INO.Z	生理食塩液	500mL					

1コースの期間	35日		
投与間隔の短縮規定	□短縮可能( 日)・■短縮不可能		
計算後の投与量上限値	110%		
計算後の投与量下限値	50%		
減量•中止基準	【中止・延期基準】 WBC<2,000/mm <sup>3</sup> ANC<1,000/mm <sup>3</sup> Hb<8.0g/dL Plt<5万/mm <sup>3</sup> T-Bil>2.0mg/dL AST>100IU/L ALT>100IU/L BUN>40mg/dL SCr>1.5/dL 上記以外でGrade3(CTCAEv3.0)以上の有害事象発現時		
前投薬	グラニセトロン3mg+デキサメタゾンNa		
その他の注意事項	TS-1併用禁忌薬:フッ化ピリミジン系抗悪性腫瘍剤 フッカピリミジン系抗真菌剤 シスプラチン投与前後にそれぞれ1000~2000mLの適当な輸液を4時間以上かけて投与する		

記入者	安室	修
確認者	大山	優